



小池 光選

「常念で雷鳥見たね」思い出を語りたき友近きて十年 東京都 浜田 綾子

【評】日本アルプスの名峰常念岳。若い時、親友と登って雷鳥を見た。その友亡くして早十年、また夏が来る。雷鳥はいまも居るのだろうか。

亡き叔父の骨壺にみな手を触れて墓石は閉ぢらぬ梅雨の晴れ間に 旭市 工藤 豊

【評】納骨の場面。みんなから愛された叔父さんだったのだろう。みんなそれぞれに骨壺に手を触れて、墓石は閉められる。結句がさりげなくて含蓄ある。

さるすべり咲く故郷に『五番町夕霧楼』の夕子 東京都 影山 博

【評】水上勉の名作。映画にもなった。夕子はその主人公。さるすべりとの取り合わせが意外性あって、よい。

フォレストが唄う昭和の名曲に木造校舎の窓辺を思う 日立市 深谷 明子

戦死者の紙一片の兄の墓戦後八十年を守り来し 町田市 谷川 治

欲しい物食したきもの特になくテパートにいて老いを意識す 兵庫県 和泉 純子

全身の力振り絞り歩みゆく老犬の姿わが身重ねて 東村山市 伊藤美津子

ちんどん屋の後をつけては戯れし昭和の風の中にいた吾 所沢市 岡田 陽一

広瀬川波の速さよ 朔太郎の暗き詩情に恋せし日あり 前橋市 高橋 香

「明鏡止水」としたため前夜吾に見せ君は臨めり心臓手術に 東京都 森本 豊子

栗木 京子選

花の名の漢字を板書してくるデイケアサピースの職員さんは 大津市 吉川 万代

【評】デイケアの施設にはいつも花が飾ってあり、ボードに名が記されている。カタカナや平かなの方が読みやすいが、表意文字である漢字には独特の味わいがある。例えばアジサイよりも紫陽花がいいな、と私も思う。

生きたより死のほうに近い八十代そろそろサンダルおろして履こう 福岡市 前田 美

【評】上句は深刻に思われるが下句にサンダルが登場することで一転して軽やかな歌になった。「そろそろ」に余裕が感じられる。

音だけでもうれしいブルーインパルスわが家の上空飛びてゆきたり 枚方市 小川 洋子

【評】七月十二日、十三日に大阪・関西万博に彩りを添えたブルーインパルス。「音だけでもうれしい」の率直さに共感を覚えた。

雨降らず水撒きののち天からのアクアマリンの本物の雨 沼津市 市川 明子

和泉雅子逝くの報参議院選の記事より重し同世代ゆえ 東京都 青山 繁

広々と窓開け放ち涼しげに無人の駅は解体を待つ 盛岡市 吉田 澄江

名も知らぬ駅に降り立ち散策すボイジャーの孤独の身に感じ 加古川市 畑 啓之

焼けた道走るタイヤは熱かろうアベベの足のごささ思う 上越市 内山 正雄

夕焼けに水平線が染まる頃浦に祭りの太鼓轟く ラグビーで大敗喫した思い出も杖つ今は宝石の如し 京都市 峰尾 秀之

札幌市 小森 雅夫

俵 万智選

パン・レタス・ハム・レタス・パン 回文のように重ねていくハムサンド 豊中市 葉村 直

【評】サンドイッチを作る手順を、具体的な単語でシンプルに可視化した上の句。生き生きと語呂もいい。加えて回文という見立てが、なんとも楽しく、言葉のサンドイッチを味わう気分だ。

ラーメンをゆっくり吸って弱くてもたぐさんあるといい命綱 東京都 石川 真琴

【評】ラーメンを食べるといふようなささやかなことにも、心は救われる。そんな小さな自分への励ましを、たくさん持つことの大切さ。細いものが縋り合っていて太い綱になる。一拍に音符つめこむようにして伝えたかった待つごめん達うの 東京都 葉山 あも

【評】結句にまさに詰めこんでいるところが工夫だ。上の句の体現となっていて面白い。

メリットがあるから子育てするわけじゃないと言いたい演説のひとに 市川市 メノウ 野原行く斜めがけた水筒は腰のあたりではずむカウベル 三田市 藤原栄美子

三方を山に囲まれても空は前方後円墳の広がり 青梅市 諸井 末男

ヨガマット水に浮かんだ花びらのごっこにバランス足裏でとる 松江市 犬山 純子

見つめると時計はいつも止まってる だるまさんころんだ子のように 石岡市 浅野 義雄

好きだって言われたことも消していく斜めに強く雨が降ってる 高島市 くらたか湖春

やわらかくもあるくぬくくとはなくたねむる子に救われている 横浜市 富尾 大地

黒瀬 珂瀾選

空襲の半鐘叩き終へしとき詰め所にわれ待つ大人ら居らず 八王子市 斎賀 勇

【評】警報の鐘を打てと命じられた。そして、子どもの自分に命じた大人たちは先にみな逃げてしまった。あの時、自分は見捨てられたのだ、という哀しい戦時の記憶です。

手を見つめ「風船爆弾つくれたの」と小声で語るおばの青春 宇部市 小林千恵子

【評】私のこの手が兵器を作った。おば様はそんな記憶に時折苦しめられるのでしょうか。大人が始める戦争は結局、子どもたちを巻き込み、その後も心に長く傷を残すのです。水分は控えめにして観るがいい無限城にはトイなど無い 調布市 菊川 直樹

【評】この歌、無惨さまからの仰せでしょうか？ 劇場版「鬼滅の刃無限城編第一章」、上映時間二時間半と聞き、僕も躊躇してます。

子は鬼滅を私は免許センターで違反者講習映画を見に行く 金沢市 竹内 一二

いつまでもSwitch2の当たらない夫と歩む平らかな生 浜松市 瀬生ゆう子

前山の三角屋根に射す朝陽届かぬうちに試歩を終へなむ 鎌倉市 中江 優子

スマホには頼らぬ暮らし誓いつつ日に何度かは確認したり 松戸市 加賀 昭人

兄の椅子を兄からうばう四歳のおごりの腕のたくまじきかな 京都市 袴田 朱夏

ベトナムに育ちしといふ種を時き今宵夕顔初花咲きぬ 市原市 山下けいこ

麦の穂のをとめ心につんつんと香き日のこと七夕恋し 福岡市 古賀 悦子

◇投稿規定◇ はがき1枚に未発表の1作品。住所、氏名(ふりがな)、電話番号を明記。◇他の媒体、選者への二重投稿は厳禁です。選者が添削することもあります。〒103・8601、にほんばし蔵前郵便局留、読売歌壇(俳壇、〇〇先生(希望選者名)係または読売新聞オンラインから ◇毎週月曜日に掲載 右の影絵はすいかのたね